

元 科 研 企 第 4 2 号  
令 和 元 年 1 1 月 1 8 日

各国公私立大学の教員各位 殿

文 部 科 学 省  
科学技術・学術政策研究所  
所 長 磯 谷 桂 介

(印影印刷)

## 「大学教員を対象とした研究マネジメント権限に係る試行的な調査」 への御協力をお願い(依頼)

日頃より、科学技術・学術政策研究所の調査研究に御理解・御協力を賜り、御礼申し上げます。

近年、日本の研究力の相対的な低下が各種の分析から指摘されており、文部科学省や各大学においても研究力向上に向けた取組が行われています。当所では、日本の科学研究の現状を、論文などのアウトプットや研究開発費・研究者数などのインプットから明らかにしてきましたが、研究力向上に向けた取組を促進するためには、研究活動のプロセス(研究力に影響を与える要因)の理解を可能にするデータセットの構築と、それに基づく分析を進めていく必要があると考えています。

こうした問題意識のもとで、当所では、「研究責任者を対象とした研究室・研究グループの研究活動の継続的な実態調査(研究室パネル調査)」の実施を計画しています。研究室パネル調査については、統合イノベーション戦略(平成30年6月15日閣議決定)の中でも必要性が言及されており、調査結果は、科学技術・学術政策立案に資するデータとして活用するとともに、日本の研究環境の改善・充実に役立てたいと考えています。

研究室パネル調査は、2018年度からの7年計画で進めており、2018年度は調査設計、2019年度(本年度)はシステム開発・試行調査にあて、2020～24年度に継続してデータ収集・分析を実施します。本年度は、データ収集項目及び調査対象者の選定方法等の検討を行っておりますが、その一環として、助教以上の教員の方を対象とした「大学教員を対象とした研究マネジメント権限に係る試行的な調査」を実施します。試行調査の目的は、教員のキャリアパスの段階によって研究マネジメント権限がどのように変化するかを把握することです。この結果をもとに、来年度以降の研究室パネル調査における調査対象者の範囲等を検討していきます。

ついては、貴殿に試行調査にご協力いただきたく、御依頼申し上げる次第です。試行調査の概要及びお願いの詳細については、同封の「大学教員を対象とした研究マネジメント権限に係る試行的な調査の概要及び御協力をお願い」を御一読ください。

なお、御回答いただいた情報については、当研究所において適切に管理・保管します。

(研究者用)